

ザラカイメン目タンスイカイメン科

ツツミカイメン

Trochospongilla latouchiana Annandale, 1907

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：－

環境省：－

写真 口絵30

【選定理由】

全国的に生息記録が少なく、今後の生息地や生息量の変化には要注意。

【概要】

水中の固形物の表面を薄盤状に覆うように付着する。表面に突起をもたない。冬期は芽球の形で越冬する。芽球は多種に比べて小さい。芽球骨片は鼓型をしていることよりこの和名がついている。国内の記録は岡山県、滋賀県、兵庫県と島根県の4県からのみである。

【県内での生息地域・生息環境】

宍道湖の船川河口近くの岸から一度だけ確認されている。その生息地の水深は浅く、塩分濃度は淡水に近かった。

【存続を脅かす原因】

生息地の物理的な環境変化と富栄養化による水質変化。